

審査寸評 工藤玲子

今年も素晴らしい作品が審査会場に並び、子どもたちの喜びや驚き、感動が一枚一枚の絵から伝わってきました。題材は多岐にわたり、画面構成や彩色を工夫した個性的な作品が多く見られました。運動会や山などで食べたおにぎりが美味しかったことや学校給食など、みんなと一緒に食べたごはんの美味しかったことを表情豊かに表現していました。特に、輝いている一粒一粒のお米の表現が印象的でした。また、田植えや稲刈りなどの体験を通じた作品は一生懸命に取り組んだ様子や楽しさが生き生きと表現されていて、今にも会話が聞こえてきそうでした。